

どう変わるの？ 向陽台のバスサービス

図1: 路線図



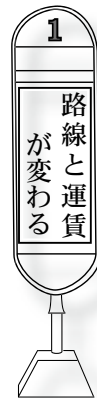
ダイヤの改正により、J Rとバスの接続が良くなります。
千歳リハ学院前からの始発は現行の午前5時55分から、同5時40分に早め、千歳駅前から向陽台行きの最終便を現行の午後9時55分から、同10時30分に延長します。
市民病院行きの便は、平日12時から22便に増便し、市民病院からの最終便も現行の午後6時から、同7時20分に延長します。



記事の詳細
企画部主幹（交通政策担当）
☎(24)-3131（内線233）
千歳相互バス（株）
☎(28)-8822

今回の向陽台地区のバスサービスの改善内容は、運行後の利用状況を見ながら、必要に応じて見直していきます。

商業施設や医療施設などをバス路線で結ぶ、循環型のバス路線（図1の新路線図）に変更します。
また、向陽台地区内は、1乗車につき運賃がこれまでの180円から100円になります。



千歳駅方面への通勤通学で朝のラッシュ時に対応する「快速便」（図2）を運行します。
快速便は「文京5丁目」と「福住1丁目」からそれぞれ7時、7時20分、7時40分に出発します。快速便の始発点から千歳駅までの所要時間がこれまでより約5分短縮します。

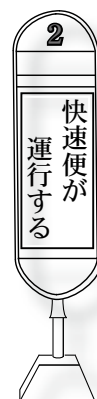
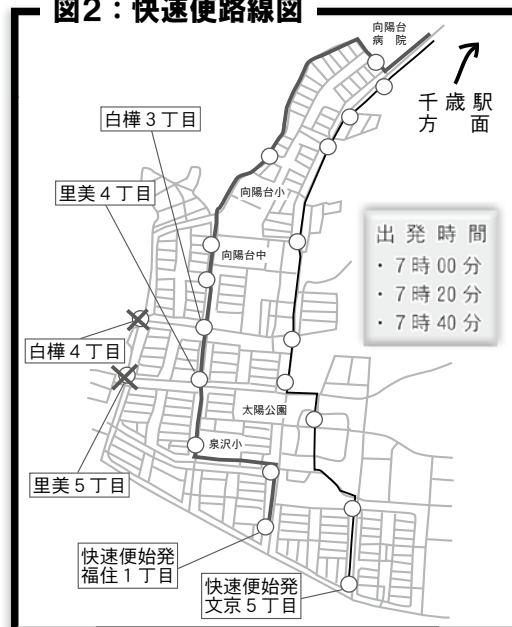


図2: 快速便路線図



「福住1丁目」発の便は、「白樺4丁目」「里美5丁目」に停車しません。普段、このバス停を利用している方は「白樺3丁目」「里美4丁目」のバス停からご乗車ください。



人口が増加している千歳ですが、路線バスの利用者は年々減少しています（表）。

利用者が減少していくと、路線の縮小やダイヤの減便につながり、学生や高齢者などの移動手段が奪われてしまいます。

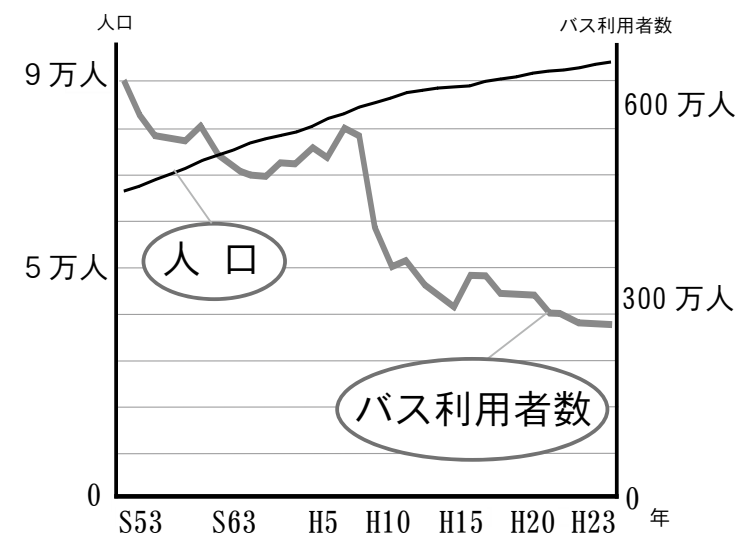
路線バスをはじめ公共交通は利便性の低下や赤字経営など、課題が山積しています。

この課題に、市やバス事業者、地域住民が個別に対応しても、解決が難しい状況です。

市は、まち全体のバス路線変更など具体的な対策のために「（仮称）千歳市交通戦略プラン」の策定に向け準備を進めています。

今月の焦点では、千歳の路線バス変更の第一歩となる向陽台地区のバスサービスの改善内容について紹介します。

表: 市内のバス利用者と人口の推移



市は、向陽台のバスサービス改善が、まち全体のバスサービス改善につながり、「このまちに住んで良かった」、「ここに住んでみたい」と思ってもらえる居住環境を整えることを目指しています。

また、地区内の商業施設や医療施設などをバスで結び、地域に住む人が施設を利用しやすいようにするバスサービスが必要であると考えました。

市は、バスサービスに対する地域からの要望が多く、検証結果を分析しやすい向陽台をモデル地区として、北海道大学の協力を得ながら、町内会やバス事業者と改善について協議してきました。

改善案では、地域住民の要望を反映した路線変更やダイヤを改正します。

また、地区内の商業施設や医療施設などをバスで結び、地域に住む人が施設を利用しやすいようにするバスサービスが必要であると考えました。

向陽台モデル事業

公共交通の課題を解決するためには、事業者や利用者など関係者の間で現実的な課題などを整理しなければなりません。

10月1日

向陽台のバスサービスが変わる！